



新春伝承あそびまつり

1月25日、安行出羽公園で開催。子どもたちは、はねつき、たこあげ、ジャンボカルタ、竹馬などのお正月遊びを楽しみました。



KAWAGUCHI PUBLICITY



拉致問題を考える川口の集い

1月31日、フレンディアで315人が参加。拉致被害者家族の講演の後、県陽高校音楽部、拉致問題を考える川口の会、参加者で拉致被害者を思う歌「あなたを忘れない」を合唱し、この問題を風化させない思いを新たにしました。

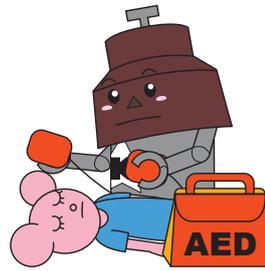
川口市体育三賞授与式

1月30日、リリアで開催。各種スポーツで優秀な成績を収めた選手・チームや、市民体育の向上に貢献されたかたがたに川口市体育賞・大野元美記念体育賞・押田記念体育賞など各賞が贈られました。



川口市防災フェア

2月8日、リリアで開催。防災講演会や防災啓発コーナーで、地域や家庭における防災対策を学びました。



COMMUNITY

マイシティかわぐち

MYCITY

みなさん、こんにちは。元気にお過ごしですか。1万5千人を超える命を奪った東日本大震災の発生からまもなく4年が経とうとしています。私は多くの尊い犠牲に報いるためにも、この震災から得た教訓をわがまちの防災対策に活かさなければと決意を新たにいたしました。

災害の発生を止めることはできませんが、被害を減らす「減災」は可能です。

本市では地震や風水害などの災害に迅速かつ的確に対応するため、川口市地域防災計画の全面改訂や川口市高度救助隊の発足など防災機能の強化に努めてきました。これからも行政としてすべきことはしっかりと行っていきますが、行政による「公助」だけでは限界があります。

災害発生直後は、市民のみならず一人ひとりが自分自身や家族を守る「自助」、お住まいの

隣近所や自主防災組織、事業所などと連携して、地域でお互いを助け合う「共助」が特に大切です。

あの大地震の記憶を決して忘れることのないよう、市民のみならず、3月11日は震災で亡くなられたかたを追悼し、復興を願うとともに、家族の集合場所や非常持出品、避難場所・避難所の位置など災害に対する備えを改めて確認する日としていただきたいと思います。

3・11を忘れない

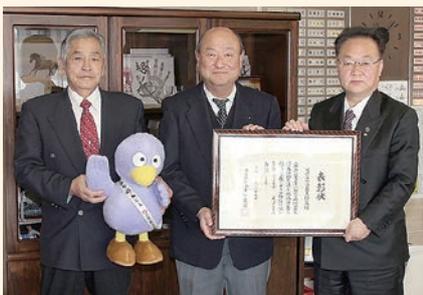
3・11を忘れない

川口市長 奥ノ木信夫

みんなであつくる

Vol.5

川口の元気



本市では「共助」の根幹をなす自主防災組織の活動が活発に行われています。この度、芝富士町会自主防災隊が自主防災組織等知事表彰を受賞しました。